

令和2年度学校経営計画

令和2年度～令和4年度

校番	107	学校名	広島県立西条特別支援学校	校長氏名	立石 均	全・定・通	本校
----	-----	-----	--------------	------	------	-------	----

1 ミッション(地域社会における自校の使命)

肢体不自由特別支援学校として、保護者や隣接の施設・病院、地域との緊密な連携・協働のもと、児童生徒の可能性を最大限に伸ばし、主体的に生きる力を育てる。

2 ビジョン(使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像)

- (1) 個に応じた主体的な学びを促す授業の実施に取り組む学校
- (2) 児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる学校
- (3) 社会の変化に柔軟に対応し、組織的にチャレンジし続ける学校

3 学校教育目標(育てたい児童生徒像)

学校教育目標	チャレンジしよう		
	知りたい	伝えたい	やってみたい
育てたい児童生徒像	様々なことに興味・関心を持つ児童生徒	自分を豊かに表現できる児童生徒	進んで学ぶ児童生徒

4 環境分析

	強み	弱み
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年度から、東広島市を就学区域として、自宅からの通学生を受け入れている。 ・看護師3名が配置され医療的ケアの体制が整っている。 ・公開連続講座等の実施、地域の小中学校から肢体不自由教育に関する研修や相談の依頼に対応しセンター的機能の役割を果たしている。 ・多様な児童生徒実態に対応した教育課程を設定している。 ・海外交流姉妹校として、タルバッカ特別支援学校と継続的な交流を行っている。 ・平成 26 年9月、ユネスコスクールとして加盟承認された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院治療を目的とする短期の児童生徒の転出入が多く、学級編制が年度途中に変わることが多くある。 ・学校全体の学級数も増加しており、普通教室や特別教室が不足している。 ・特別支援学校教諭免許状の保有率が 100 パーセントではない。 ・転出入や多様な教育課程による事務的な業務が膨大である。 ・校舎2階からの避難経路が設置されていない。 ・敷地内や校内への侵入を防ぐセキュリティ対策が不十分である。
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小・中学校から特別支援教育に関する講師派遣依頼の要請や公開講座の参加人数が増えてきており、東広島市の肢体不自由特別支援学校としての認知が進んでいる。 ・病院やスポーツ交流センターおりづる等が隣接しており、医師やPTやOT等の専門家の助言を受けることができる。 ・近隣に広島大学や西条農業高等学校等があり、地域資源に恵まれている。 ・東広島市自立支援協議会が設置されており、本校も参加し地域の情報を得ることができる。 ・平成 21 年度から「こころのいずみ作品展」を東広島市内で毎年開催し、多くの来場者が訪れ好評を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望に応じた進路先が少ない。 ・公共交通機関の利用が不便である。

5 目標の設定

学校経営目標							
達成目標	評価指標	実績値	目標値				担当部等
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
1 個に応じた主体的な学びを促す授業の実施に取り組む学校							
卒業後の生活を見据えたキャリア教育の充実	学校評価アンケートによる肯定的な評価の割合	—	60%	70%	80%	進路指導部	
チャレンジし続ける児童生徒を育む授業づくり	学校評価アンケートによる肯定的な評価の割合	—	70%	80%	90%	教育研究部	
2 児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる学校							
救急体制・防災体制の充実	学校評価アンケートによる肯定的な評価の割合	—	60%	70%	80%	保健安全部	
挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上	教職員アンケートによる肯定的な評価		70	80	90	生徒指導部	

3 社会の変化に柔軟に対応し、組織的にチャレンジし続ける学校							
教育相談・情報発信の充実	本校の特色をアピールした回数	—	5回	7回	10回	地域支援部	
業務改善の具体的な取組の実践	計画した案の実施率	—	70%	85%	100%	業務改善プロジェクト	
地域と協働できる取組内容の充実	協議及びアイデア集約(教職員アンケートの活用)	—	60%	実施60%	実施70%	こころのいずみプロジェクト	
地域への情報発信	学校評価アンケートによる肯定的評価		60%	70%	80%	総務部	

6 行動計画

学校経営目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 個に応じた主体的な学びを促す授業の実施に取り組む学校			
卒業後の生活を見据えたキャリア教育の充実	・卒業後の生活がイメージできるよう、研修会や進路だより等において、キャリア教育の指導事例や福祉制度等を保護者等に伝える。	・研修会や進路だより等で福祉制度等の説明やキャリア教育に係る具体的な指導事例等において校内での連携を図る。	進路指導部
チャレンジし続ける児童生徒を育む授業づくり	・研修会や環境支援チェックシート(仮)等を通じて、チャレンジし続ける児童生徒を育む授業づくりについて理解を深める場を設定する。 ・「知りたい!」「伝えたい!」「やってみよう!」を叶えるための環境支援について、全教職員が理解を深め、日々の授業に活かす。	・学校教育目標や育てたい児童生徒像を目指した授業づくりについて、学校全体で取組を進める。	教育研究部
2 児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる学校			
救急体制・防災体制の充実	・年3回行う安全点検において危険箇所を把握し修繕するなど危険防止の措置を取る。 ・年度始めに危機管理マニュアルについて周知し、全体で確認、医療的ケア研修会、緊急対応マニュアル研修会、火災避難訓練を行い、緊急対応に備える。 ・災害避難時の備蓄品等について自宅生保護者に周知し協力を得る。	・児童生徒が安心安全に学べる環境づくりを行う。 ・職員が避難訓練・研修等をとおして緊急対応時の実践力を高める。 ・災害避難時の備蓄品等について自宅生保護者と連携し備える。	保健安全部
挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の定着と規範意識の向上	・児童生徒が自主的に話し合いができるような場の設定を工夫する。 ・教職員アンケートを取り、挨拶等の児童生徒の実態及び変容について調べ、児童生徒の指導に活用する。	・生徒指導の3機能を踏まえた指導(自己決定、自己存在感、共感的人間関係)を学校全体で行うことを通して、児童生徒の学校生活の充実を図る。	生徒指導部
3 社会の変化に柔軟に対応し、組織的にチャレンジし続ける学校			
教育相談・情報発信の充実	社会の変化やニーズに柔軟に対応し、こもだるくんだよりやオープンスクール等で、地域に本校の特色を積極的に発信する。	学校や関係機関等へ、誰もが分かりやすくニーズに応じた情報発信を積極的に行う。	地域支援部
業務改善の具体的な取組の実践	・全教職員へ業務改善の意識共有を目指す。 ・全教職員へアンケートを実施し、業務改善案を募集する。 ・月1回プロジェクト会議を行い、改善方法を検討し、具体的な取り組みの実践につなげる。	プロジェクトチームのメンバーが中心となり、学校全体で業務改善の意識を共有し、取り組む。	業務改善推進プロジェクト
地域と協働できる取組内容の充実	・5月・6月・8月・10月・12月・2月の6回のプロジェクト会議を行い、地域資源を活用した取組内容を考える。 ・プロジェクト会議の内容は、各学部で共有するとともに、必要に応じて協議の時間を設定したり教職員アンケートを活用したりしながらアイデアを集約する。	・プロジェクトのメンバーが中心となり、各学部会等で協議しながら、学校全体で地域と協働していく取組を進める。	こころのいずみプロジェクト
地域への情報発信	地域への情報発信として、ホームページを定期的に更新していく。	・ホームページを更新できる人数を増やし、ホームページの更新回数を安定させる。	総務部